(Vista Version)

Excel2007 中級関数



初歩からの PC テキスト

第1	章	切り捨て・切り上げ・四捨五入	. 5
[1]]	準備	. 5
[2]]	ROUNDDOWN 関数とは(概要)	. 6
[3]	J	ROUNDDOWN の操作	. 6
[4]]	桁数にプラスの値(正の数)を指定する	. 8
[5]	j	桁数にマイナスの値(負の数)を指定する	. 9
[6]]	その他の桁数	10
[7]]	その他の処理方法	11
[8]]	ROUNDUP 関数と ROUND 関数 (資料)	13
[9]]	練習問題	14
筐 2	⊿ 音	新自己之····································	16
<u>ے</u> در [1]	+]	准備	16
[2]	1	+ 協・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	17
[3]	1		17
ΓΔ ΓΔ	1	金平町で開始した。	18
[5]	1	17日 年・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	10
[0] [6]	1	<u> い</u> 我 (次 年) · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	20
[0]	1	11位で文子にする	20 91
L () [Q]	1		21 91
lo]	1	工 側の际に INUL C 9 S · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	21 99
い (1) (1) (1)	】 咅	林白 回 起 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	22 94
あり 【1	早 1		24 94
[1] [1]	1	(午) (年) (年) (年) (年) (年) (年) (年) (年) (年) (年	24 95
[4] [9]	1		20 20
[3] [4]	1	も 一 民 の イ	29 22
4 4	↓ ≖	(約1) (約1) (約1) (約1) (約1) (約1) (約1) (約1)	33 95
	早 \	へさ来 (へさしよつ)	35
	1	牛佣・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	35
		へさ来(へさしよう)の使用	36
[3]) 	線習问起	37
第り	早 、	複数の論理式-AND	38
		準備	38
		AND 関数とは(概要)	39
[3]			39
[4]]	OR 関数とは(概要)	43
[5]]	OR 関数の利用	43
[6]		線習問題	45
第6	草	IF 関数1	47
[1]]	準備	47
2		IF 関数とは(概要)	48
[3]		IF 関数の効果	48
[4]		セルの指定と空白の指定	50
[5]		数式の指定	51
[6]]	文字データの評価	52
[7]]	空白の検索	54
[8]		練習問題	55
第7	章	IF 関数 2	58
[1]]	準備	58

[2	2]	3つの場合分け	58
	3	3つ以上の場合分け	62
	4]	3つ以上の場合分け(まとめ)	65
[{	5)	AND 関数を論理式に採用する	65
[(6]	OR 関数を論理式に採用する	68
[′	7]	練習問題	71
第8	3章	アンパサンド[&]	75
[]	1]	準備	75
[2	2]	&[アンパサンド]の使用	75
[;	3	セルと文字データそのものを連結する	76
	4	空白を付ける	76
[{	5]	練習問題	77
第9)章	順位を調べる RANK 関数	78
	1]	準備	78
	2]	RANK 関数とは(概要)	78
[;	3	降順で使う RANK 関数	79
	4)	昇順における RANK 関数	82
[{	5)	練習問題	83
第1	0章	VLOOKUP[近似値検索]	85
	1]	準備	85
[2	2]	VLOOKUP 関数とは(概要)	86
;]	3	VLOOKUP 関数で使用する対応表の作成	87
	4	VLOOKUP 関数の使用	87
[{	5	作成の復習	90
[(6	練習問題	92
第1	1章	VLOOKUP 関数[完全一致検索]	94
	1	準備	94
	2	従来どおりの VLO0KUP 関数	94
;]	3]		96
[4	4]	完全一致検索の VLOOKUP 関数とは(概要)	97
[{	5]	完全一致検索を採用する	98
[(6] 7)		100
ľ	7] 0]	完全一致検索の VLOUKUP	100
5] 1	8] 0]	元王一政快糸の行母	102
	୬] ୦ ବ	線首问起」	105
- 第一	」 2 早 1 】	CUUNTIF'SUMIF」 准/告	105
L. Tr	1] ວ]		100
L4 T4	ୟ] ସ]	COUNTER 関数の利田	106
L.		SIMIF 関数レけ(標準)	100
L. L	=1 5]	SUMIF 因数	109
L. [/	6]	練習問題1	112
	∽⊿ ∟∩ ===	IF 関数を利用した空白・エラーの回避	116
- 筆 1	্র 🖨		
- 第1	3 早 1】	進備	116
第1 【1	3 早 1】 2】	準備1 IF 関数を用いたエラーの回避1	116 118
- 第1 【〕	る早 1】 2】 3】	準備1 IF 関数を用いたエラーの回避1 手入力で空白時のエラーを回避する1	116 118 121

(5)	エラーを発見する論理関数[ISERROR]	123
[6]	エラーの回避・最終処理	124
[7]	練習問題	126

- ▶ 記載されている会社名、製品名は各社の商標および登録商標です。
 - 本書の例題や画面などに登場する企業名や製品名、人名、キャラクター、その他のデータは架空のものです。現実の個人名や企業、製品、イベントを表すものではありません。
 - 本文中には[™],®マークは明記しておりません。
 - 本書は著作権法上の保護を受けております。
 - 本書の一部あるいは、全部について、合資会社アルファから文書による許諾を得ずに、いかなる 方法においても無断で複写、複製することを禁じます。ただし、合資会社アルファから文書による 許諾を得た期間は除きます。
 - 無断複製、転載は損害賠償、著作権法の罰則の対象になることがあります。
 - この教材はMicrosoft Corporationのガイドラインに従って画面写真を使用しています。
 - ◆ 著作・製作 合資会社アルファ
 - ◆ 発行人 三橋信彦
 - ◆ 発行 〒244-0003 神奈川県横浜市戸塚区戸塚町 118-2 中山 NSビル 6F
 - ◆ 定価 ¥5,040 円

第1章 切り捨て・切り上げ・四捨五入

【1】 準備

次のような計算表を作成しましょう。C 列の値は B 列の値を 0.025 倍したものです。

	А	В	С	D	E	F	G	Н	
1									_
2		購入金額	ポイント	処理0	処理1	処理-1	処理A	処理B	
3		15496	387.400						
4		612	15.300						
5		7850	196.250						
6		13635	340.875						
7		940	23.500						
8		3465	86.625						
9		19467	486.675						
10	ſ								-

C)	19	• (°" •) ∓				切	り捨て1 -	- Micros	soft Excel						- ¤ X
<u> </u>	ホーム	挿入 /	ページ レイアウト	た機・	データ	校閲表								0 -	- ×
	X	MS Pゴシック	- 11	- A A	= = .	= >-	The second secon	標準		-			計■挿入▼	Σ · Α	- AA
貼り付	(† 🔁	B / II -		A , Z ,				- III	%_ • €.0	.00 条件付	き テーブルとして	セルの	学前除 -	 ・ ・ ・	: 検索と
*	- V	D 1 <u>0</u>		📫 (🏛)				-3	00.	*** 書式	- 書式設定 -	スタイル・	▼ た客 🗐	🖉 🍨 フィルタ・	選択▼
クリップァ	K G		フォント	- Bi		配置	- Gi		数値	G.	スタイル		セル	編集	
	J4	-	(• fx												×
	A	В	С	D	E	F	1	G	Н	Ι	J	К	L	M	N
1															
2		購入金額	ポイント	処理0	処理1	処理−1	処理	A	処理B						
з		15496	387.400												
4		612	15.300												
5		7850	196.250												
6		13635	340.875												
7		940	23.500												
8		3465	86.625												
9		19467	486.675												
10															

【2】 ROUNDDOWN 関数とは(概要)

ROUNDDOWN 関数は、選択したセル・数値を切り捨て処理する関数です。引数には「数値」「桁数」の2つ必要です。

ROUNDDOWN 関数の書式

=ROUNDDOWN (数值, 桁数)

…[数値]を指定した[桁数]で切り捨てる。

<引数解説>

数値:切り捨て処理をしたいセル・数値を指定する欄

桁数:小数点以下をすべて処理する場合には「0」を指定。小数点以下の一部を処理する場合には、何桁 目の次を処理するのかを数値で指定。整数部(十の位、千の位など)以下を処理する場合には、一 の位なら「-1」、十の位なら「-2」、百の位なら「-3」のように指定。

	Α	В	С	D	E	
1			_			
2		1234.567				
3			-			
4		桁数	処理後	C列に入力されている式		
5		0	1234	=ROUNDDOWN(B2,B5)		
6		-1	1230	=ROUNDDOWN(B2,B6)		
7		-2	1200	=ROUNDDOWN(B2,B7)		
8		-3	1000	=ROUNDDOWN(B2,B8)		
9		1	1234.500	=ROUNDDOWN(B2,B9)		
10		2	1234.560	=ROUNDDOWN(B2,B10)		
11				-	17	亙

【3】 ROUNDDOWN の操作

(1) D列にはC列の値を整数化させた値を表示させます。小数点以下の端数は切り捨てます。使用するのは ROUNDDOWN 関数です。D3 をアクティブにして[関数の挿入]をクリックして下さい。

C)	🚽 il) -	(≅ -) ₹				切り	捨て1 -	Micros	soft Excel						_ = X
	ホーム	挿入	ページ レイアウト	选择	データー	校開 表示								0	- 🗖 X
脂り付		IS Pゴシック B I <u>U</u> -	• 11	· A A	2.	[関数	のł	軍フ	、]をク	リック	ブルとして	セルの スタイル ・	ी□挿入 - 計●削除 - 問書式 -	∑ · 27 ■ · 27 2 · 7ィルタ	と 検索と * 選択・
クリップア	K— G		フォント	1 9		記置	- Fa		數值	G I	スタイル		セル	編集	
	D3	•	() f x												*
	A	В	C I	νς D	E	F	0	à	Н	Ι	J	K	L	M	N
1			(関数の挿入											
2		購入金額	ポイント	処理0	処理1	処理-1	処理/	ł	処理B						
3		15496	387.400												
4		612	15.300				-								
5		7850	196.250					1.	. D3 な	ドアクテ	-ィブに	-			
6		13635	340.875							., , ,	1210				
7		940	23.500												
8		3465	86.625												
9		19467	486.675												
10															

(2) [関数の分類]を「すべて表示」にしてから「ROUNDDOWN」関数を選択して下さい。

関数の挿入	? ×
関数の検索(S):	
何がしたいかを簡単に入力して、「検索開始」をクリックしてください。	検索開始
関数の分類しに9个(表示	
関数名(N):	
RIGHTB	
ROLIND	
ROUNDDOWN	
ROW 2. FROUN	NDDOWN」関数を選択
ROUNDDOWN(数值.桁数)	
数値を切り捨てます。	
<u>この関数のヘルフ</u> OK	キャンセル

(3) [数値]には「C3」を用います。端数処理したい数値が入力されているセルを指定するのです。[桁数]には「0」を入力してOKします。小数点以下を処理して、整数化する際には、[桁数]「0」を採用するのです。



(4) D3 の結果を D9 までコピーしましょう。それぞれの値が小数点以下で切り捨て処理された事がわかります。

C .	J 🖬 🍤 -	(°" -) ∓				切り	捨て1 - Micro	osoft Excel						- 🗆 X
2	ホーム	挿入 🦯	ページ レイアウト		データー オ	交閲 表示	ŧ						0 -	⊂ x
-	. X .	AS Pゴシック	- 11	- A A	= -	8	款 数值		- 1			計■挿入・	Σ · Α	din.
貼りた	ter 🖬 📴							0/		ー ン テーブルとして	セルの	評削除 ▼		検索と
-				<u>#</u>			-	/0 / .00 -	*.0 書式 ~	書式設定 -	スタイル・	→ た書 🗐	2 - 7119 -	選択 -
クリップ	赤午 區		フォント	Fa.	l B	儘	Ta I	薮灯直	6	スタイル		セル	編集	
D3 🗸 🔄 🏂 =ROUNDDOWN(C3,0)													≽	
	A	В	С	D	E	F	G	Н	I	J	K	L	M	N
1														
2		購入金額	ポイント	処理0	処理1	処理-1	処理A	処理B						
3		15496	387.400	387.000										
4		612	15,300	15.000										
5		7850	196.250	196.000										
6		13635	340.875	340.000			D3 (D=	ポを DC) キで	⊐ピ				
7		940	23.500	23.000					σC					
8		3465	86.625	86.000										
9		19467	486.675	486.000	<u> </u>									
10					-									

【4】 桁数にプラスの値(正の数)を指定する

(1) E列(処理1)にも、各ポイントを、切り捨て処理をした結果を表示させます。ただし、小数点1桁目 は残し、2桁目以降を処理するのです。ROUNDDOWN 関数を使用するという事は同じです。E3をアク ティブにしてから[関数の挿入]をクリックして下さい。



(2) 「最近使用した関数」から「ROUNDDOWN」を選択しましょう。

関数の挿入		? X
関数の検索(S):		
何がしたいかを簡単に入力して、「検索腸	1995年19月1日 19月1日 1月1日 1	
関数の分類(C): 最近使用した関数	Image: Image	
		1. [関数の分類]を「最近使用した関数」に
ROUNDDOWN PHONETIC RIGHT MID SUBSTITUTE LOWER ROUNDDOWN(数値桁数) 数値を切り捨てます。	2.「ROUNDDOWN」を選	選択
	ß	
ー この関数のヘルプ	OK ++>	ンセル

(3) [数値]には、先ほどと同様「C3」を採用します。[桁数]には、小数点何桁まで残し、それより後を処理するか、を指定します。小数点1桁まで残すので「1」と指定して0Kして下さい。

関数の引数	?×
ROUNDDOWN-	
数值 C3	■ ³³⁷⁴ [数値]に「C3」、[桁数]に「1」を指定
数値を切り捨てます。	= 387.4
	桁数 には数値を切り捨てた結果の桁数を指定します。桁 数に負の数を指定すると、数値は小数点の左(整 数部分)の指定した桁(1の位を0とする)に切り
数式の結果 = 387.400	
<u>この関数のヘルプ(H)</u>	<u>OK</u> キャンセル

(4) E3 に作成された式を E9 までコピーしましょう。小数点 2 桁以下が処理され、小数点 1 桁目までが 残ります。

C.	9	+ (°I +) ∓				ţ	叩捨て1	- Micro	soft Excel							- ¤ x
	*-4	挿入 🗸	ページ レイアウト	た機・	データー 利	交閲 表	क्र								0 -	- ×
	. &	MS Pゴシック	- 11	· A A	= = =		=	数値		-				計■挿入▼	Σ·Α	(A)
貼り	tt 🐴	BIU-	🖽 • 🔕 •	A - Z -			-2	•	% ,	.00 	条件付き	テーブルとして	セルの	評削除 ▼	● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	検索と
クリップ	ж <u>-</u> б		フォント	6	đ	置	G.		数値	Ę,		スタイル	A217P	セル	[11/2] 編集	7921/V
	E3	-	(• <i>f</i> x	=ROUND	DOWN(C3,1)										*
	A	В	С	D	Е	F		G	Н		Ι	J	К	L	M	N
1																
2		購入金額	ポイント	処理0	処理1	処理-1	処理	ΨA	処理B							
3		15496	387.400	387.000	387.400											
4		612	15,300	15.000	15.300											
5		7850	196.250	196.000	196.200					h						
6		13635	340.875	340.000	340.800					۲						
7		940	23,500	23.000	23.500											
8		3465	86.625	86.000	86.600											
9		19467	486.675	486.000	486.600	1										
10						F										

【5】 桁数にマイナスの値(負の数)を指定する

(1) 今度はF列に、一の位以下を切り捨てた結果を表示させます。十円単位にするのです。ROUNDDOWN 関数を使います。F3をアクティブにしてから[関数の挿入]をクリックして下さい。

[🚽 🤊 -	(°I -) =				切り:	捨て1 - Micro	soft Excel						_ = ×
	*-4	挿入 ^	ページ レイアウト	、数式				_						- 🔿 🗙
Ē	× N	AS Pゴシック	• 11	· A A	2. [[関数(の挿入	.]をク	リック			冒⇔挿入 → 3▲副際会 →	Σ	æ
貼り付	tit 🍟 🦉	B I <u>U</u> -	- 🔁	<u>A</u> - <u>7</u>			e 🔋	% ,	·00 条件付:	き テーブルとして	セルの	間書式。	 並べ替え 2 マイルタ、 	と 検索と
クリップァ	ポ ∽ Б		フォント	- 🖌 6	ē	2置	5	数値	5	スタイル		セル	編集	
	F3	-	• f *	7										×
	A	В	С		E	F	G	Н	I	J	K	L	M	N
1				美夏201年/へ										
2		購入金額	ポイント	処理()		切.Ŧ甲1	加田山	buirmo 🦯						
3				17 mar - 14 m	1/C-*±1	COST 1	1 Xerea	池理日				N.		
		15496	387.400	387.000	387.400			处理日	1. F3	をアク	フティ゙	ブに		
4		15496	387.400 15.300	387.000 15.000	387.400 15.300			207210	1. F3	をアク	7ティ]	ブに		
4		15496 612 7850	387.400 15.300 196.250	387.000 15.000 196.000	387.400 15.300 196.200			207 <u>1</u> 10	1. F3	をアク	7ティ.	ブに		
4 5 6		15496 612 7850 13635	387.400 15.300 196.250 340.875	387.000 15.000 196.000 340.000	387.400 15.300 196.200 340.800				1. F3	をアク	7ティ]	ブに		
4 5 6 7		15496 612 7850 13635 940	387.400 15.300 196.250 340.875 23.500	387.000 15.000 196.000 340.000 23.000	387.400 15.300 196.200 340.800 23.500				1. F3	をアク	7ティブ	ブに		
4 5 6 7 8		15496 612 7850 13635 940 3465	387.400 15.300 196.250 340.875 23.500 86.625	387.000 15.000 196.000 340.000 23.000 86.000	387.400 15.300 196.200 340.800 23.500 86.600				1. F3	をアク	7ティご	ブに		
4 5 7 8 9		15496 612 7850 13635 940 3465 19467	387.400 15.300 196.250 340.875 23.500 86.625 486.675	387.000 15.000 196.000 340.000 23.000 86.000 486.000	387.400 15.300 196.200 340.800 23.500 86.600 486.600				1. F3	をアク	アティブ	ブに		

(2) ROUNDDOWN 関数を採用して下さい。さて、[数値]は「C3」です。続けて[桁数]です。一の位以下を処理し、十の位を残す場合には「-1」を指定します。設定後は OK して下さい。なお、十の位以下を処理するなら「-3」になります。

軍教の引教	2 X
	[数値]は「C3」、[桁数]は「-1」に
数值 C3	I = 387.4
桁数 -1	I = -1
	= 380
数値を切り捨てます。	
桁對	な には数値を切り捨てた結果の桁数を指定します。桁 数に負の数を指定すると、数値は小数点の左(整 数部分)の指定した桁 (1 の位を 0 とする) に切り
数式の結果 = 380,000	
<u>この関数のヘルプ(H)</u>	OK キャンセル

(3) 完成後はコピーしましょう。

C		1 7 -	(* *) ₹				切り	捨て1	- Micro	soft Excel								- 🗆 X
E	*-	-4	挿入	ページ レイアウト	先楼	データー 利	交閲 表示	ŧ.									0 -	, ⊓ x
して して して して して して して して して して	। वित्रं कि	M	S Pゴシック <i>I</i> 型 -	• 11	· A a` A · ∰ ·			in 1 1 1	数値 到 ▼	% ,	.00 .0€	▲ 4 付き 条件付き 書式 ▼	テーブルとして 書式設定・	セルの スタイル ~	計●挿入・ 計●削除・ 開書式・	Σ • 	シング 並べ替えと フィルタマ	検索と選択す
クリップ	ボー… 「	9		フォント	- Gi	Ē	置	5		数値	5		スタイル		セル		編集	
	F	F3	-	(• <i>f</i> *	=ROUND	DOWN(C3,-	1)											×
	A		В	С	D	E	F		G	Н		Ι	J	К	L		M	N
1																		- T
2			購入金額	ポイント	処理0	処理1	処理-1	処理	ĒA	処理B								
3			15496	387.400	387.000	387.400	380.000	1										
4			612	15,300	15.000	15.300	10.000	<u> </u>										
5			7850	196.250	196.000	196.200	190.000						<u>ت</u>					
6			13635	340.875	340.000	340.800	340.000											
7			940	23.500	23.000	23.500	20.000											
8			3465	86.625	86.000	86.600	80.000											
9			19467	486.675	486.000	486.600	480.000	<u> </u>										
10																		

【6】 その他の桁数

(1) G 列では B 列(購入金額)の、十の位以下を処理した値を表示させます。[桁数]は「-2」になります。 マイナスで指定した分だけ、「0」が作成されます。G3をアクティブにし、[関数の挿入]をクリックして 下さい。

C	9	• (°I •) ∓				切り:	捨て1 - Micros	soft Excel							- • >
	ホーム	挿入 /	ページ レイアウト	た (装) こう (こう) こう (うう) こう (う) (う)		_		_						0 -	. 🔿 X
	1 X	MS Pゴシック	- 11	- Δ [*] Δ [*]	2.	[関数(刀挿入	.]をク	リック	HT 2		計■挿入・	Σ -	A	AA.
貼り作	1(†	P 7 II -					a. @.	0/	.00 条件付き	・テーブルとして	セルの	評削除 ▼		ℤ□ 並べ替えと	検索と
	V	DIO						/0 / .00	*.0 書式 -	書式設定。	スタイル・	▼ た書 🗒	2-	フィルター	選択▼
クリップ	ボー 回		フォント	– 5		1 置	Di l	數値	6	スタイル		セル		編集	
	G3	•	(• fs												2
	A	В	С	D	E	F	G	Н	I	J	К	L		M	N
1				関数の挿入											
2		購入金額	ポイント	処理O	処理1	処理-1	処理A	処理B 🥻	-			N.			
3		15496	387.400	387.000	387.400	380.000			1. G3	をアク	フティ゙	ブに			
4		612	15,300	15.000	15.300	10.000		r L		<u> </u>		- 10			
5		7850	196.250	196.000	196.200	190.000									
6		13635	340.875	340.000	340.800	340.000									
7		940	23.500	23.000	23.500	20.000									
8		3465	86.625	86.000	86.600	80.000									
9		19467	486.675	486.000	486.600	480.000									
10							.								

(2) ROUNDDOWN 関数を選択します。[数値]を「B3」、[桁数]を「-2」にします。このように、[桁数]は小数 点を基準にして、どの程度離れた部分以下を処理するか、を指定する欄なのです

国教の引教	21 X
ROUNDDOWN	[数値]を「B3」、[桁数]を「-2」に
数值 B3	IS = 15496
桁数 -2	= -2
	= 15400
数値を切り捨てます。	
1	行数 には数値を切り捨てた結果の桁数を指定します。桁 数に負の数を指定すると、数値は小数点の左 (整 数部分)の指定した桁 (1 の位を 0 とする) に切り
数式の結果 = 15400	
<u>この関数のヘルプ(H)</u>	OK キャンセル